

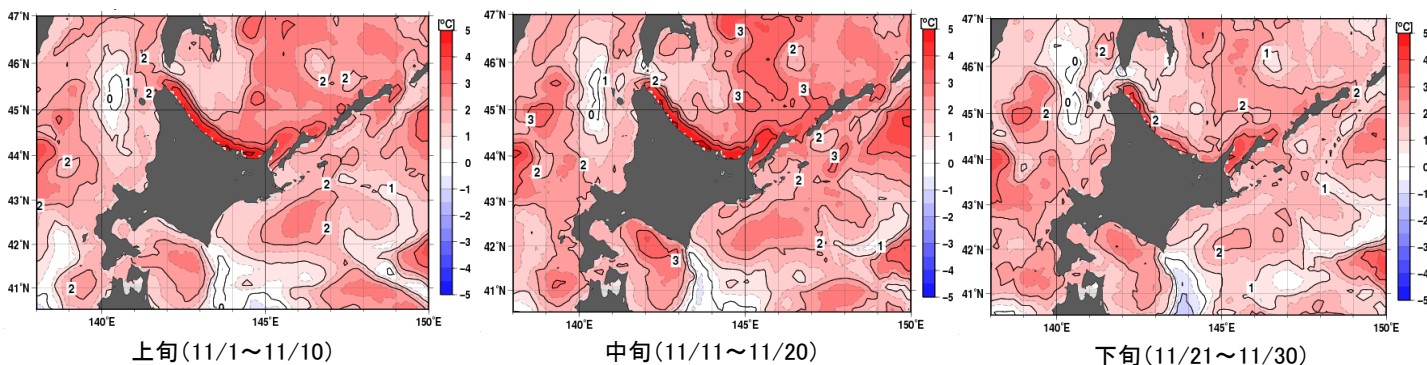
トピック

海面水温は平年よりかなり高い状態が継続

11月の海面水温[速報]

北海道周辺の海面水温は、各海域とも平年よりかなり高い状態が継続しました。これは平年より寒気の流入が少なく、風の弱い日が多かったためと考えられます。

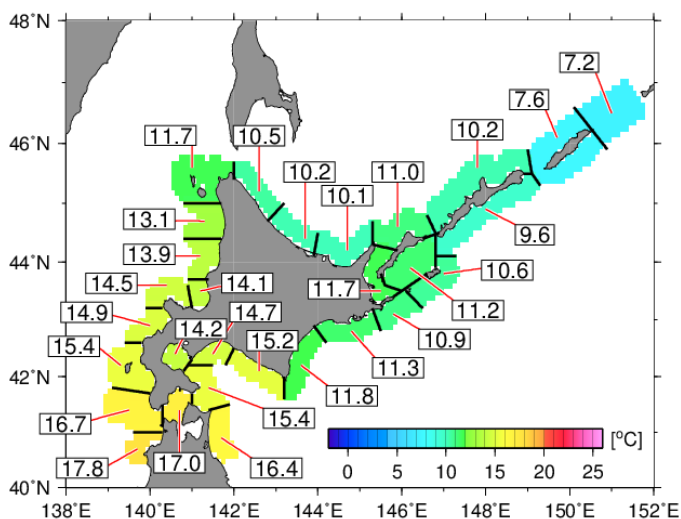
向こう1か月、北海道周辺の海面水温は平年より高いか、かなり高い見込みです。襟裳岬沖では平年並か平年より低い海域がみられるでしょう。



11月の旬毎の平均海面水温の平年差

- ・この情報は速報値を元に作成しており、12月20日発表予定の日本近海の海面水温・海流(月概況)では異なる表現になる場合があります。
 - ・海面水温の平年値は1981~2010年の平均です。海氷のために海面水温のデータがない海域は、灰色の網掛けで示しています。
- 「北海道周辺海域の海面水温・海流」:https://www.data.jma.go.jp/gmd/kaiyou/data/shindan/f1/jun_SP/kaikyo_SP.html
「日本近海の月平均海面水温」:https://www.data.jma.go.jp/gmd/kaiyou/data/db/kaikyo/monthly/sst_HQ.html

11月の沿岸水温



- ・図中の数字は、海面水温の日別速報解析値の月平均(°C)です。
 - ・海氷に覆われるなどで欠測した日を含む海域の値は()付で示し、月の半分以上が欠測となった場合は「—」で示しています。
- 「沿岸域の海面水温情報(北海道)」:
<https://www.jma-net.go.jp/sapporo/kaiyou/engan/engan.html>

海氷・流氷に関する情報

オホーツク海では例年11月初め頃に北部から凍り始め、その後海氷は次第に南方に範囲を拡大し、1月中旬頃には北海道沿岸に近づきます。平年では、網走で1月21日、稚内で2月13日に流氷初日(気象台から初めて流氷が見られた日)をむかえます。オホーツク海は北半球で最も南に広がるもので、北海道のオホーツク海沿岸は比較的容易に「海氷・流氷」に接することができる世界的にも珍しい地域となっています。

札幌管区気象台では、例年12月下旬頃から、今後1週間の見通しを掲載した「北海道地方海氷情報」を発表しています。このほか、気象衛星ひまわりの画像や、1週間先までの数値海氷予想図など、様々な海氷に関連する情報へのリンクサイトを用意しています。

流氷観光や出漁などの参考としてご活用ください。

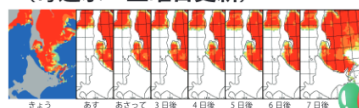
札幌管区気象台ホームページ

「海氷・流氷に関する情報」

<https://www.jma-net.go.jp/sapporo/kaiyou/seaice/seaice.html>



■数値海氷予想図
(毎週水・土曜日更新)



■オホーツク海南部の衛星画像(30分毎更新)



Sea ice information
Japan Meteorological Agency
海氷情報 ユビング

水色は雪氷、つまり積雪や海氷

(次回の発表予定 平成31年1月4日)

